

以下の問題文を読んで、次の問いに答えなさい（解答は縦書き。句読点・括弧も一字分として計算する）。

問「一」 筆者は、津波による災害の場合にも「囚人のジレンマ」とよく似た問題として「津波のジレンマ」（傍線部①）が生じうるとするが、これはどのようなものであると考えられるか。四〇〇字程度で説明しなさい。（八〇点）

問「二」 筆者は、「困った人を助けるのが仕事であるような職業にある人々には、異なる教えを作成する必要がある」（傍線部②）と述べるが、それはなぜか。また、それはどのような教えであると考えられるか。津波でんでんこの教えに対する批判についての筆者の考えを踏まえて、七〇〇字程度で説明しなさい。（一二〇点）

〔問題文〕

(問題文略 後掲「注意」参照のこと)

---

〔注意〕

児玉聡『実践・倫理学——現代の問題を考えるために』(勁草書房、二〇二〇年)。

なお、問題文とするに際し、省略し、また表記を改めたところがある。